

令和7年度第4回看護研究倫理委員会議事要旨

日時 令和7年9月16日(月) 16:30～17:30
場所 WEB会議 (Microsoft Teams) ゼブラ棟2階多目的室④
出席者 ■伊藤委員長 ■山本委員 ■古賀委員 ■竹下委員 ■大矢委員
□藤谷委員 ■飯塚委員 □三宅委員 ■伊藤委員 ■小中委員
■山根委員
(■が出席、□が欠席を表す。)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。

議題

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：看護師の心理的柔軟性とリーダーシップ能力の関連

伊藤委員長から、原院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

- ・ 6ページ研究計画書「6. 1. 適格基準」について、最終的には看護管理責任者が了承し、研究対象者として選定していることを追記すること。
- ・ 8ページ研究計画書「8. 3. 集計・評価方法2)」について、「他者からの支援を受けた経験について」という表現を、「他者からの支援を受けた経験尺度項目について」や「他者からの支援を受けた経験項目」へ修正すること。
- ・ 8ページ研究計画書「9. 1. 予定対象者数」について、適切か再検討すること。併せて、確実に対象者数を確保できる方法についても再検討すること。
- ・ 17ページ資料2 研究協力回答書に記載のある項目について再検討すること。
- ・ 24ページアンケート調査に使用する Forms 画面の写しについて、研究対象者が回答する際に、分かりやすい表現となるように記載内容を検討すること。
- ・ 研究対象者が Forms で回答するにあたり、一時保存できないことを追記

すること。

- ・本研究で既成の尺度を使用するため、使用許諾を得ている旨を追記すること。

- ・その他、誤字や表現の誤りについても指摘があった。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

(2) 課題名：未就学児を育てながら働く女性副看護師長のワーク・ファミリー・エンリッチメントとその関連要因

伊藤委員長から、黒崎院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

- ・4ページ研究計画書「Ⅱ. 研究背景」について、資源という単語の具体的な意味を明確すること。

- ・4ページ研究計画書「Ⅱ. 研究背景」について、親看護師という単語に注釈を加えること。

- ・6ページ研究計画書「Ⅴ. 用語の定義」について、「ワーク・ファミリー・エンリッチメント」の略語を「WFE」から「W-F-E」に修正すること。

- ・6ページ研究計画書「2. 研究対象者」について、サンプルサイズを追記すること。また、サンプルサイズとして適切か検討すること。

- ・9ページ研究計画書「6. 分析方法」について、「家庭領域におけるサポートの因子分析」という表現を「家庭領域におけるサポート尺度項目の因子分析」や、「家庭領域におけるサポート項目の因子分析」へ修正すること。

- ・17ページ資料1「6. 依頼内容3)」について、適格基準に合致する対象者が10名以上いる場合、看護管理責任者が10名を選出することによりバイアスが生じる可能性があるため、対応方法を検討すること。

- ・18ページ資料2 研究協力の回答書に記載のある項目について再検討すること。

- ・19ページ資料3について、「ワーク・ファミリー・エンリッチメント」の語句内で改行しないよう修正すること。

- ・24ページ資料4について、記載方法を再検討すること。

- ・その他、誤字や表現についても指摘があった。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

2. 「島根大学医学部看護研究倫理委員会業務手順書」の一部改正（案）について

事務局から資料3に基づき、「島根大学医学部看護研究倫理委員会業務手順書」の改正について説明を行った。

令和6年4月3日に改正のあった「医学部看護研究倫理委員会規程」にあわせることを目的としている。

審議の結果、原案のとおり承認することとした。

報告事項

○審査結果について

- 1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 鈴木 響子
課題名：初妊婦の就労に関連した快適さの体験
審査結果：承認（令和7年6月27日付）

○終了報告書について

令和7年6月提出：2件

○次回の委員会について

令和7年10月20日（月）16：30